

日本近代

高橋由一から藤島武二まで——山岡コレクションを中心に

二〇〇六年

九月十六日[土]—十月二十九日[日]

休館日：九月十九日[火]、二十五日[月]、十月二日[月]、十日[火]、十六日[月]、二十三日[月]
開館時間：午前九時—午後五時（入館は午後四時三〇分まで）
入場料：一般八〇〇円（六〇〇円）、高大生六〇〇円（四〇〇円）、中学生以下は入場無料。
（内は前売及び二〇名以上の団体料金）

主 催：刈谷市、刈谷市教育委員会、刈谷市美術館、中日新聞社
後 援：愛知県教育委員会
特別協力：財団法人日動美術財団

刈谷市美術館

第一、第二、第三展示室

同時「常設展示第二期 郷土の洋画」
開催（会場・特別展示室・入場無料）

刈谷市美術館 〒444-0851 愛知県刈谷市住吉町四丁目五番地 TEL 〇五六六-二三二六三六 FAX 〇五六六-二六-〇五二 <http://www.city.kariya.lg.jp/museum/>

洋画への道

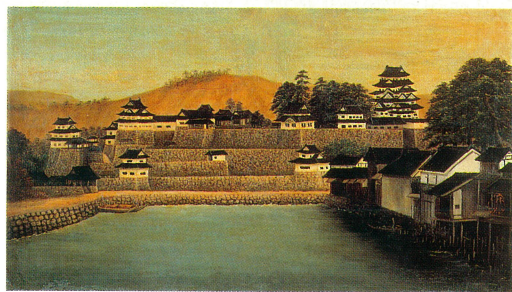
日本近代洋画への道

高橋由一から藤島武二まで—山岡コレクションを中心に

日本における近代洋画の本格的なはじめは、西洋からさまざまな文化が流入しはじめた江戸後期から明治にかけてのことでした。初めて西洋の絵を目にした当時の画家たちにとって、何よりも新鮮な驚きだったのは、その迫真的な表現でした。その「リアル」な表現に魅了された彼らは、さっそく西洋絵画の技法を身につけようと試行錯誤を繰り返して、しだいに新しい芸術の創造を目指して一歩ずつ歩みだしていきました。

この展覧会では、実業家・山岡孫吉氏(一八八八—一九六二、ヤンマーディーゼルの創業者)によって蒐集された作品を中心とした、約七〇作家の一七〇余点によって日本の洋画草創期の歴史を振り返ります。山岡コレクションは、日本近代洋画史の貴重な宝庫であり、長い間一部の研究者のみが知る幻のコレクションとされてきました。新しい時代の息吹に刺激され、近代を切り開いた画家たちの苦難の足跡をゆっくりと鑑賞ください。

司馬江漢、亜欧堂田善、高橋由一、チャールズ・ワグマン、徳川慶喜、百武兼行、山本芳翠、川村清雄、五姓田義松、小山正太郎、山下りん、ジョルジュ・ビゴー、中村不折、久米桂一郎、黒田清輝、藤島武二、湯浅一郎、岡田三郎助、満谷国四郎、和田英作、青木繁など約七〇作家・一七〇余点



床次正精《城》制作年不詳



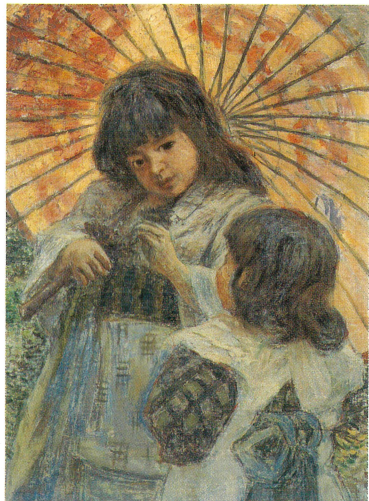
百武兼行《ブルガリアの女》1882年



黒田清輝《黒田清兼像》1907年



チャールズ・ワグマン《百合図》1878年



青木繁《二人の少女》1909年



藤島武二《ヴェニス風景》1908-09年

入場料	一般	高大生	中学生以下
当日	800円	600円	無料
前売・団体	600円	400円	

*前売券は、サークルKサンクス(愛知・岐阜・三重・長野県下の各店舗)、チケットぴあ、ファミリーマート、刈谷市美術館他でお求めください。9月15日[金]まで販売。
*身体障害者・精神障害者保健福祉・療育の各手帳所持者及び付き添いの方(1名)は入場無料。手帳をご持参ください。



【交通のご案内】

◎JR、名鉄三河線「刈谷駅」下車、南口より徒歩10分
※「刈谷駅」はJR「名古屋駅」から快速で約15分
◎車：名古屋方面より=国道23号線(知立バイパス)
「一ツ木IC」から約5km 駐車場60台(無料)

刈谷市美術館 Kariya
City Art Museum
〒448-0852 愛知県刈谷市住吉町4丁目5番地 TEL.0566-23-1636
FAX.0566-26-0511 <http://www.city.kariya.lg.jp/museum/>

会期中の催し物

1. つくる⇔みるプログラム

①「明治の昔へタイムトラベル」

9月24日[日] 午前10時→午後3時30分

あなたがもし明治時代に出かけたとしたら、まわりの景色や人々はどう感じるのでしょうか? 展覧会を鑑賞した後、明治の画家になりきって、あなたが登場するちょっと不思議な絵を描きます。

対象：小学生/定員：24名

参加費：200円(レクリエーション保険代+材料費)

事前
申込

②「明治に生きた画家にチャレンジ!」

10月9日[月・祝] 午前10時→午後3時30分

あなたには、旅行へ出かけた時などに撮影した自分が写ったお気に入りの写真がありますか? それを持ち寄って、展覧会をじっくりと鑑賞した後、明治に生きた画家の視線にチャレンジして、時代背景を明治に置き換えた絵に仕上げます。レトロな雰囲気の種類づくりにも挑戦します。

対象：中学生→大人/定員：20名

参加費：500円(レクリエーション保険代+材料費)、高校生以上は要展覧会チケット

事前
申込

講師：各回すべて山口ももさん(美術家)

申し込み方法：「往復はがき」か「FAX」にて、参加したいプログラム名、参加者名(ふりがな)、住所、TEL/FAX、年齢(学年、学校名)、保護者名をご記入のうえ

美術館までお申し込みください。なお、返信用はがきにも住所と名前を記入してください。

※定員を超えた場合は抽選とし、結果をお知らせします。しめきりは、それぞれの開催日の10日前(必着)まで。

あて先：〒448-0852 刈谷市住吉町4-5

刈谷市美術館 FAX0566-26-0511

2. 期間限定カフェ「かりや茶寮」

10月21日[土]、22日[日] 午前11時→午後3時

美術館隣の茶室(佐喜知庵)では、昔ながらの懐かしい洋風菓子と飲み物(有料)を楽しんでいただく、期間限定カフェ「かりや茶寮」を開催します。展覧会鑑賞のひとときをゆっくりおくるぎください。

なお、開催日のお呈茶(お抹茶)はお休みとなります。

3. ギャラリー・トーク

会期中の火曜日(9月19日、10月10日を除く)

午後2時から約40分間

学芸員による作品解説ツアー。当日1階ロビーにお集まりください。※聴講無料(要展覧会チケット)

4. この1点を語る

9月30日[土]・10月14日[土]、28日[土]

午後2時から約20分間

文化振興課職員によるトーク。当日1階ロビーにお集まりください。※聴講無料(要展覧会チケット)